

家畜衛生だより

中越家畜保健衛生所

〒949-7413
魚沼市堀之内2914-2
Tel 025-794-2121 Fax 025-794-5400
E-mail ngt066040@pref.niigata.lg.jp

No. 156

2010年1月発行

韓国で口蹄疫が発生！

平成22年1月7日、韓国京畿道（キョンギド）抱川（ポチョン）市（ソウル近郊北東約30km）の酪農家1戸（185頭飼養）で乳牛6頭に口蹄疫が発生しました。

既に管内の牛豚飼養農家及び関係機関には農林水産省からの第1報のあった1月7日にFAX及びメール等で連絡したところですが、詳細についてお知らせします。

お知らせ

- ・韓国の畜産農家への訪問は控えてください。
- ・病気の侵入防止など飼養衛生管理を徹底してください。
- ・口蹄疫を疑う症状（口腔、舌、蹄等の水疱）を確認したら、直ぐに家畜保健衛生所に通報してください。

～～口蹄疫はこんな病気～～

牛、めん羊、山羊及び豚等偶蹄類（蹄が2つある動物）すべてに感染します（ヒトには感染しません）。年齢を問わずに発生し、口腔内、舌、鼻鏡及び蹄部（特に蹄と皮膚の境目の部位）に水疱を形成します。乳牛では泌乳停止及び食欲廃絶、豚では元気消失、発育遅延及び脱蹄がみられます。死亡率は低いですが、経済的損失が甚大な海外悪性伝染病です。

～～発生経緯～～

1月2日に疑わしい症状の牛が確認され、地元自治体及び道獣医機関へ報告。

3日に簡易キット陰性。

6日再検査で陽性。

7日国立獣医科学院でリアルタイムPCRで陽性。韓国政府はOIEへ6頭の感染確認を通報。

～～韓国における防疫措置～～

発生農場：牛185頭のとう汰（終了）、農場の消毒

周辺農場：半径500m以内のすべての偶蹄類（牛、山羊及びシカ 324頭）のとう汰（終了）

発生農場と疫学的に関連のある農場：

- 1 発生前 7日間に発生農場から牛を導入した農場：2農場ともに飼養牛検査により陰性確認したが、予防的にとう汰（終了）
- 2 発生前 8～21日間に発生農場から牛を導入した農場：3農場に対し移動制限実施し、検査中。

発生農場の周辺区域：危険区域；半径 3km以内、サーベイランス区域；半径 3～10km、制限区域；半径10～20km に区分し移動制限

日本向け輸出関連製品：証明書発行の停止

～～日本における防疫措置～～





韓国からの偶蹄類の肉等及び稲わら等の輸入手続きの一時保留（1月7日）

注）従来、済州島からの生鮮豚肉及び韓国本土からの加熱豚肉・稲わらのみ輸入を認めていました。

動物検疫所において韓国からの旅客に対する靴底消毒等の措置

牛の耳標報告について

平成15年6月11日法律第72号「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」により、管理者による出生等の届け出と耳標装着が義務付けられてから既に6年が経過しました。当所ではサブセンターとして本トレーサビリティ制度が円滑に運用されるよう各農家のお手伝いをしてきたところです。従来、脱落耳標の再発行手続き等について代行していた部分もありましたが、法律本来の趣旨及び再発行手続きが簡単で、当所が実施しても手元に耳標が届くまで時間的ロスがかかることから**各農家で速やかに手続きされるようお願いしています**。方法はほとんどの方が既にご存知と思いますが、方法についてご不明な方は当所までご相談ください。

届出手段	対象者	主な特徴（届出方法など）	出生	転入 転出	死亡	と畜	耳標 再発行	修正
電話応答 	農家 農協等	プッシュフォンによる報告 TEL 186-0037-80-1777（通話料無料） TEL 186-0248-48-0594（携帯・IP電話の場合）	●	●	●	×	●	×
携帯電話 	農家 農協等	携帯電話による報告 https://www.id.nlbc.go.jp/report/	●	●	●	×	●	×
パソコン 	農家 農協等	インターネットによるWeb報告 https://www.id.nlbc.go.jp/top.html 代行報告は（独）家畜改良センターに申請	●	●	●	×	●	△
FAX 	農家 農協等	報告カードをFAXで送付する報告 FAX 186-0037-80-2525（通話料無料） または 186-0248-48-0593 （IP電話の場合は、0248-48-0593）	●	●	●	●	×	×

△ 修正は自分が報告したデータのみ可能です。

家畜保健衛生業績発表会が開催されました。

平成22年1月8日県庁で平成21年度新潟県家畜保健衛生業績発表会が開催されました。発表会では、畜産の現況に即して家畜保健衛生所が日頃実施している事業、調査等の成績について19題の発表がありました。当所からは次の3題が発表されました。

管内乳房炎罹患牛の履歴調査（企画指導課 須貝主任）

定期検査を利用した牛白血病対策の検討（防疫課 田中獣医師）

管内におけるアカバネ病の発生とウイルス浸潤状況調査及びワクチン接種率の向上対策（防疫課 村山主任）

今後この成果は巡回時等の指導に役立てていきたいと思っております。